

同窓会

の

チカラ

同窓会のための情報誌

2017

特集 ● 女子力の今

- ・女歯会というカタチ：九州大学歯学部同窓会 女歯会
- ・繋ぐ力を育む：京都市立堀川高等学校 堀川同窓会
- ・立ち上がる女性部会：新潟県立高田高等学校校友会 女性部会
- ・女子グルメの会：茨城県立水戸第一高等学校 東京知道会

紹介 ● 同窓会活動紹介

- ・わっぜ甲南 いっど甲南：鹿児島県立甲南高等学校同窓会青年部会
- ・未来を綴るために：大分県立大分雄城台高等学校同窓会首都圏支部
- ・図書館に行こう!!：埼玉縣立本庄高等学校同窓会

リレー連載 ● 私と同窓会

- ・毛利一幸（佐賀県立唐津商業高等学校若桐同窓会会長）

わが学び舎

- ・愛媛県立西条高等学校道前会

Our Proud

愛媛県立西条高等学校／旧西条藩陣屋跡
(1640年頃の構築。大手門は現在正門として残る)

Vol. 9

図書館に行こう!!

埼玉縣立本庄高等学校同窓会

図書館は第二の勉強部屋

学校・PTA・同窓会の支援の絆



右・奥 千加（おく・ちか）氏
本庄高等学校教頭

左・川上芳男（かわかみ・よしお）氏
本庄高等学校同窓会・事務局長



●連絡先

〒367-0045 埼玉県本庄市柏1丁目4番1号

埼玉縣立本庄高等学校同窓会事務局

TEL 0495-21-1195 (代) / FAX 0495-25-1024

<http://www.honjo-h.spec.ed.jp>

E-mail: info@honjo.spec.ed.jp

新しい図書館は広く明るく居心地のいいスペースで、生徒にも好評ですし、学校としても「見守り」ができます。そういう

新しい図書館は広く明るく居心地のいいスペースで、生徒にも好評ですし、学校としても「見守り」ができます。そういう

埼玉県立本庄高等学校は、平成二十五年（二〇一三）に県立本庄北高等学校を統合し、新しい本庄高等学校として出発しました。これにより進学校としてこれまで以上に勉強や部活に拍車がかかったわけで、高校生活にも活気があふれ、関係者として大変喜ばしく思っています。本校ではもともと電車通学の生徒が多い上に部活も活発で、そのため帰宅して夕食をとると眠くなってしまう勉強ができなくなってしまう、という声がありました。それならば、いっその学校に残って勉強したほうが良いという生徒も多く、空いている教室などで自主的に残って勉強していたのですが、あちこちバラバラに居るものから、教師の目が届かない。それならば、ということで二〇一四年三月に新しく建てられた図書館を、放課後は自習室として生徒に開放しようということになったのです。

●埼玉県立本庄高等学校では、二〇一五年九月から、放課後午後八時まで図書館を学習室として開放することを始めた。同様の事例は数多くあると思われるが、本庄高等学校では学校関係者、とりわけ同窓会の柔軟な協力態勢の存在が大きく、通常直面する「誰が管理監督するのか」というきわめて現実的な問題に対しても地域ぐるみで解決するなど、同窓会の本分である「母校支援」の活動に積極的に関わっている。この活動の実際について、同窓会事務局長の川上芳男氏と本庄高等学校教頭・奥千加氏に伺った。

学校側の姿勢は保護者にも理解されていると思っております。

図書館は大きなワンルームのような構造で、入り口から離れた静かな二カ所に共用机があり、そこが学習スペースで、おおよそ二クラス分、約百人が利用できます。更にパソコンの使える五席が別途用意されています。

開館時間は午後八時まで。土曜日は基本的に地域の人たちに開放されていますが、土曜日に授業がある時には午後四時四十五分まで開館しています。利用者は毎日二十から三十人くらいです。試験の前など、百人を超える場合もあり、その時は隣の館も開放します。

この活動で一番の問題は「見守り」の人員の確保です。教職員の勤務時間は午後五時からです。開放している午後八時までの間を誰が詰めるのか、学校と同窓会でさまざまなアイデアが出され検討されました。当初はシルバー人材センターに依頼することも考えましたが、議論の末に、PTAと同窓会のボランティア活動で当番管理をし、見守りをするようになりました。

以来、春に新入生が入ってくる際に、PTAに向けてこの活動の趣旨を伝え、「見守り」をしてくださる方を募っています。同時に、同窓会にも呼びかけを行っています。そうして「当番表」を作成し「見守り」をお願いしているわけですが、時には急に事情が発生して出られなくなることもあります。しかし、図書館の開放は既定のことですから実施しなくてはなりません。そういう時にも同窓会がそのネットワークを活かし、対応しています。

「見守り」は一人体制です。終了後に簡

単な日誌を書きます。その後、図書館の力を教頭が受け取り、これで「見守り」の作業は終わります。本校は二人教頭ですの、交替でこの作業に当たっています。

この図書館の開放は、ただ単に図書館を三時間長く開けておくということではありません。傍から見ればどうということもないことかもしれませんが、生徒に少しでもよい学習環境を用意するという理念を実行するには、その背後にある諸問題にも眼を向けなくてはなりません。ですので同窓会では、新年の集まりなどに教職員を招き、さまざまな事について互いに忌憚の無い意見を述べ合っています。こうした同窓会と学校の会合というのは大変重要で、同窓会は母校支援をする上で、今本主に学校が必要なことを知ることができずし、学校・保護者・同窓会の三者が協力して生徒の育成を行うという理想にも近づくことができると思っています。

私たちにとって、図書館の開放はその最初の一步なのです。



▲本庄高等学校のキャラクター「ほんたん」



▲学習机。仕切りを設けることで気が散らず勉強に集中できると好評。